

平成30年度 P P D C Aサイクル表

台帳番号 平成30年度 1 番 当初起案日 平成30年 2月15日所 管 議会活性化特別委員会 担当者 職・氏名 係長 高橋 英樹

サイクル	年 月 日	内 容 等
計画 Plan	30.2.15	<p>議会活性化特別委員会を開催し、次のとおり計画を決定</p> <p>誰が：議会活性化特別委員会が</p> <p>いつ：平成30年度中に</p> <p>どこで：—</p> <p>何を：議場内モニター・スクリーン（議員質問用）を</p> <p>なぜ（何のために）：本会議の質問の際に、議員の資料をモニター表示させ、傍聴者・視聴者をはじめ、議員・説明員に分かりやすく、かつ、議員の質問に厚みを持たせるために</p> <p>どうする：検討し、設置する</p>
手順・ 経過 Process	29.11.9	委員会を開催し、前任期の申し送り事項にある「議場内モニターの設置に向けた検討を進めること」を確認。次回、今後の検討項目を全議員から募集し、検討項目を整理していくことを決定。
	30.1.11	委員会を開催し、全議員から募集した検討項目を整理し、「議場内モニターの設置」を検討項目とすることを確認。
	30.1.25・26	議場内スクリーンを設置して質問を行っている東京都調布市議会(簡易版)、神奈川県秦野市議会(会議システム・タブレットを活用)を視察。
	30.2.15	委員会を開催し、前回の会議結果の確認、視察結果の振り返りを行い、「議場内モニターの設置」に向け検討していくことを決定。今後の具体的な検討方法については、ICTに強い委員を中心としたICT部会を設置し、部会で様々な方策等を委員会に提示しながら協議していくことを決定。
	30.3.2	<p>ICT部会を開催し、協議した結果、以下のとおりとし、次回の委員会(平成30年4月)に報告することを確認。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・6月定例会において、スクリーンを使った議員質問を試験的に行う。(試験実施のため、既存の備品等を利用する。) ・議場内モニター(スクリーン)は、試験実施後に検証を行い、さらに検討を進めていく。

<p>手順・経過 Process (続き)</p>		<p>・会議システムを導入した場合は、議場内モニター(スクリーン)の導入方法が大きく変わるため、会議システム導入の検討も併せて行う。</p> <p>※参考に、視察した秦野市議会が導入している会議システムの概算金額を調査しておく。</p> <p>30.3.8 会議システムの業者から概算見積を取得。</p> <p>30.4.12 ・議会活性化特別委員会を開催し、6月定例会では、議場内スクリーンを試験導入し、主にICT部会部員3名、その他希望議員の質問時に実施することを検討。委員会終了後、委員会メンバーにより、議場で配置箇所や映写状況等を確認。</p> <p>・ICT部会を開催し、議場内スクリーンの試験導入にあたっての問題点、運用方法、運用マニュアル案、今後の日程を確認。また、会議システムの導入について、導入できる端末や会議システムの見積もりを確認。</p> <p>30.5.17 6月定例会で試験的に実施する議場内スクリーンの設置場所や運用マニュアル案について、協議した。</p> <p>30.5.22 議場内スクリーンの配置箇所、運用マニュアル案を議会運営委員会(議長)に報告。承認された。</p> <p>30.6.11 6月定例会一般質問において、議場内スクリーンを試験実施した。</p> <p>30.7.20 7月20日までの回答締め切りで、全議員、本会議議場内の執行部職員、議会事務局職員を対象とした、スクリーンの試験実施に関するアンケートを実施した。</p> <p>30.7.27 ICT部会を開催し、スクリーンの試験実施に関するアンケート結果をもとに、今後の方針を協議した。今後の方針として、「執行部用のタブレットと会議システム」「議長席の後ろに大型モニター」「両サイドにモニター」など導入の案が出された。</p> <p>30.8.21 ICT部会と当局との意見交換会を実施した。当局のタブレット型パソコンの運用状況や当局のペーパーレス化の状況、当局で新たなタブレット型端末(iPad等)を導入した場合のタブレット型端末の活用方法などを意見聴取した。</p> <p>30.9.11 議会活性化特別委員会を開催し、今後の方針として、議場内の両側に大型モニターを設置し、傍聴席にもモニターを設置する案を固めた。</p> <p>30.9.10・11 9月定例会一般質問において、2度目の議場内スクリーンの試験実施を行った。</p>
-----------------------------------	--	---

手順・ 経過 Process (続き)	30.9.11	議会活性化特別委員会を開催し、今後の方針として、議場内の両側に大型モニターを設置し、傍聴席にもモニターを設置する案を固めた。
実行 Do	30.6.11 30.9.10・11	6月定例会一般質問において、ICT部員3名(上田、中川、東野)及び南出議員の合計4名が、プロジェクターを用いた議場内スクリーンの試験実施を行った。 9月定例会一般質問において、ICT部員2名(上田、中川)及び稲垣副議長、南出議員の合計4名が、プロジェクターを用いた議場内スクリーンの試験実施を行った。
検証 Check	30.6.25 30.7.20 30.7.27 30.9.11	ICT部会を開催し、6月定例会での議場内スクリーンの試験実施の結果検証を行った。実施してみたの感想や反省点等を確認した。 7月20日までの回答締め切りで、全議員、本会議議場内の執行部職員、議会事務局職員を対象とした、スクリーンの試験実施に関するアンケートを実施した。 ICT部会を開催し、スクリーンの試験実施に関するアンケートの結果の検証を踏まえ、協議した。今後の方針として、「執行部用のタブレットと会議システム」「議長席の後ろに大型モニター」「両サイドにモニター」など導入の案が出された。9月定例会では、再度、議場内スクリーンの試験実施を行うことを確認した。 議会活性化特別委員会を開催し、今後の方針として、議場内の両側に大型モニターを設置し、傍聴席にもモニターを設置する案を固めた。
改善 Action	30.9.26 31.3.22	議会運営委員会で、9月11日の委員会の協議結果を報告し、議場内モニターの設置に向けて、来年度予算要求を行うことを確認した。 平成31年度(2019年度)当初予算として、傍聴席用モニター及びタブレット内の画像データの受送信機器の購入費が計上された。(議場内の両側の大型モニターについては、執行部がパソコンを議場内に持ち込み、画像を確認することとし、購入費は計上されていない。)